

【条例施行規則64条関係 (500t以上1000t未満排出事業者用)】

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

(宛先) 長野市長 萩原健司 様

提出者

住 所 長野県長野市小島田町80番地

氏 名 新光電気工業株式会社

更北工場長 松林克幸

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-283-1000

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	新光電気工業株式会社 更北工場
事業場の所在地	長野県長野市小島田町80番地
計画期間	令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	215,022百万円
③従業員数	1,145名
④産業廃棄物の一連の処理工程	製造現場より排出→産業廃棄物保管施設→業者回収

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

職務分担

- ・工場長：排出物の管理統括。
- ・施設担当部門長：産廃の保管管理、排出量の管理、資源化、減量化、有効利用化等の推進。
- ・特別管理産業廃棄物管理責任者：有資格者から選任され、特管の管理、処理等を適切に管理。
- ・排出物の発生部門長：排出物の分別・保管等について管理し、教育、指導を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油
	排出量	55.11t	52.22t	1.32t	101.29t	587.74t
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	(これまでに実施した取組) 資源化・減量化・有効利用化の推進。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油
	排出量	60.62t	57.44t	1.45t	111.41t	646.51t
	産業廃棄物の種類					
	排出量					
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組みを更に推進。					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 処理業者の選定により減量化の推進。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組みを更に推進。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和 年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量					
	(これまでに実施した取組)					
【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	廃油
	全処理委託量	55.11t	52.22t	1.32t	101.29t	587.74t
	優良認定処理業者への処理委託量	55.11t	52.22t	1.32t	101.29t	587.74t
	再生利用業者への処理委託量					
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
産業廃棄物の種類						
②現状	全処理委託量					
	優良認定処理業者への処理委託量					
	再生利用業者への処理委託量					
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	(これまでに実施した取組)					

		【目標】						
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	廃油	木くず
		全処理委託量	60.62t	57.44t	1.45t	111.41t	646.51t	2.67t
		優良認定処理業者への処理委託量	60.62t	57.44t	1.45t	111.41t	646.51t	2.67t
		再生利用業者への処理委託量						
		認定熱回収業者への処理委託量						
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
		産業廃棄物の種類						
		全処理委託量						
		優良認定処理業者への処理委託量						
		再生利用業者への処理委託量						
		認定熱回収業者への処理委託量						
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
		(今後実施する予定の取組)						
②計画								
※事務処理欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類												合計		
		ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石膏ボード)	汚泥(上・下水、建設、その他)	金属くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	廃油	木くず									
排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	55.11t	52.22t	1.32t	101.29t	587.74t	2.43t							800.11t	
		本年度排出量(計画)	60.62t	57.44t	1.45t	111.41t	646.51t	2.67t							880.10t	
自ら行う(行った)再生利用に関する事項		前年度実績														
		本年度計画(目標)														
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		前年度実績														
		本年度計画(目標)														
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	55.11t	52.22t	1.32t	101.29t	587.74t	2.43t							800.11t	
		本年度計画(目標)	60.62t	57.44t	1.45t	111.41t	646.51t	2.67t							880.10t	
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	55.11t	52.22t	1.32t	101.29t	587.74t	2.43t							800.11t	
		本年度計画(目標)	60.62t	57.44t	1.45t	111.41t	646.51t	2.67t							880.10t	
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績														
		本年度計画(目標)														

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。